

西区 区域まちづくり事業 効果検証シート							
事業名称					実施主体		
親子のふれあい はじめての絵本事業					西区役所政策推進室		
事業目的		事業内容		活動指標	R4	R5	R6
保護者に読み聞かせの効果を伝え家庭での実施を促進することで、親子の愛情を深め、子育ての喜び、乳児の健やかな成長に寄与する。		4か月児健診時に、こどもとその保護者に絵本の読み聞かせを体験してもらい、家庭での読み聞かせを継続できるよう絵本を1冊贈る。		①絵本配布乳児割合 (配布乳児数÷4カ月児健診受診者数)	100% (1029人)	100% (821人)	100% (863人)
				アンケート調査結果【渡した本について】 R4[回収率31%] よかった74% 家庭でも読み聞かせをしている78% 読み聞かせは効果がある 84% R5[回収率35%] よかった80% 家庭でも読み聞かせをしている86% 読み聞かせは効果がある 84% R6[回収率82%] よかった80% 家庭でも読み聞かせをしている84% 読み聞かせは効果がある 91%			
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	文科省において子どもの豊かな人間性の涵養に読み聞かせが効果的であると認められており、行政がそのきっかけを提供することは意義がある。	○	西図書館で活動しているボランティアの協力のもと、区民との協働で実施している。	○	絵本をプレゼントすることにより、保護者に読み聞かせの重要性を認識してもらうとともに、絵本を介した親子のふれあいの機会を増やすことが期待できる。	○	区役所で実施する4か月児健診で読み聞かせと配布を行うことで、興味関心のない保護者にも体験してもらうことができ、単独での企画や個別送付による配布よりも効率的に読み聞かせの効果を伝え絵本の配布ができる。
⑤自立発展性		総合評価					
△	当事業は、親子の愛情と絆を深めてもらうことを目的としているため、行政が主体となって実施することは重要である。	○	絵本を用いて、親子の愛情と絆を深めることを目的に実施している事業であり、アンケート結果から、本事業の目的はほぼ達成できていることがわかる。年少人口が多い西区においては、特に効果的な事業であると考え。様々な絵本に出会いたい気持ちの醸成、読み聞かせの習慣づけが期待できる。				
今後の方向性(課題、改善提案等)							
拡充 継続 見直し 廃止	アンケート結果から、読み聞かせが親子の愛情と絆を深めるために効果的であると感じた保護者が多くみられることから、当該事業が有意義な事業であるといえる。このことから来年度以降も当該事業を継続実施する。						